



◆生育状況について

巨峰の開花は5月24日頃となった。昨年比7日早く、発芽期より、生育は進んでいる。
 シャインマスカットの作業が遅れている園が散見される。開花時の摘心が間に合わないとならば着粒が悪くなるため、間に合うよう作業を進める。その他品種も、各種作業が遅れないように注意する。
 また、芽かきの不徹底の園が散見されますので、棚面を明るく保つようにしする。

◆当面する重点作業

1. 強風で新梢が欠損した箇所は誘引し直し空間を埋める。
2. 品種ごと満開までに段切りが終了するよう、適期に作業をすすめる。
4. 降雨が続く場合は、散布間隔を10日以上空けないように晴れ間を見ながら散布する。
 また、小雨の場合は雨の中でも散布を行い、病気の発生を防ぐ。
5. 雨が少ない場合は、定期的なかん水を行い、初期肥大を促す。
6. 天候不順や樹勢が不安定で、キャップの飛びが悪い園は梅雨による灰色かび病発生やサビ果となるので、花カスを取り除く。
7. 種あり巨峰は、各園地の着粒状況を確認し、実止まり確認後早急に摘房・摘粒の作業を行う。
 また、ドブづるや棚下の枝等の切除を行う。
 尚、棚下の枝の切除量が多い場合は、一度に行うのではなく2～3回に分けて行う。
8. 種なしぶどうでは摘房・摘粒を遅れないように実施し、2回目のジベレリン処理までに終了させる。尚、2回目のジベレリン処理終了後仕上げの摘房・摘粒作業を行い、袋掛けを実施する。
9. ナガノパープルは、裂果防止のため、適正な房管理をする。

◆第7回薬剤散布について（小豆大頃・落花10日以内）

※今回から袋かけまで展着剤・乳剤類は果粉溶脱があるので使用しない。

1. 散布時期:落花10日以内（自園の生育に合わせる）

2. 調合量:水1000ℓ当り ※混用順に記載。 散布日 月 日

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
オーソサイド水和剤	125g	べと病・晩腐病	30日前
ディアナWDG	10g	スリップス類	前日

3. 散布量:10a当り⇒3000ℓ以上

4. 留意事項

①葉斑が残ることがあるので、散布が遅れないようにする。

②黒系品種は、果粉溶脱軽減のため、オーソサイド水和剤に代えて、ホライズンドライフロアブル2,500倍（水1000ℓ当たり40g）でもよい。ただし、黒とう病への効果が低下しているので注意する。

◆べと病対策の徹底について

降雨が続く場合は要注意。散布間隔は通常でも14日以内、降雨が続く場合は10日以内の散布に努める。散布間隔が空き過ぎないように注意する。

◆定期的なかん水について

- 晴天が7日続いたら20～30ミリ程度のかん水を行う。(砂を含む土は4日)
※10aに1ミリのかん水をするには、水1,000ℓが必要。樹冠下に行く。
- かん水後のマルチは水分保持に有効である。稲わらなどのマルチを敷く。
- 種あり巨峰の場合は、開花前から開花中でのかん水は控える。
- 種なし品種の場合は、「シャインマスカット」以外の品種は、開花前～第1回ジベレリン処理の間は、定期的に灌水し、土壤水分を一定に保つ。
「シャインマスカット」は、過度なかん水は、新梢が旺盛になり、花振るいしやすくなるため、注意する。
第1回ジベレリン処理時に乾燥している場合は、処理効果をあげるため、午後にかん水を行う。(湿度をあげる)。

◆種なしぶどうの2回目ジベレリン処理について

- 処理時期：満開10日から15日後（果粒横径9mm時が目安）
- 処理方法

品 種	処 理 濃 度	備 考
種なし巨峰・シャインマスカット ピオーネ・ナガノパープル クイーンニーナ・クイーンルージュ® サニールージュ	ジベレリン水溶剤25ppm 水1ℓに ジベレリン錠剤1錠(25mg)	1つの房に対し1回花房浸漬処理

3. 留意事項

- ①生育が揃わない場合は2回に分けて処理する。
- ②処理後は、棚や主枝を揺すり薬液を落とす。
- ③降雨による再処理は1回だけ認められている。心配な場合は技術員へ相談下さい。
- ④ジベ処理前日までにかん水を行う。また、高温時のジベ処理は、効果が劣るので午前中の涼しい時に行う。
- ⑤ナガノパープルで毎年大粒になり裂果が心配される樹では、満開後10日頃の処理を目安とする。
- ⑥2回目のジベレリン処理では全品種フルメット液剤は、使用しない。

◆種無しぶどうの軸長と着粒数の基準（目安）について

適正な房作りを行うため、軸長調整と摘粒の徹底をして下さい。

品種別基準（第2回目ジベ処理前）※着粒数の多い大房は売れません！！

品種名等	軸長 cm	段数	粒数
無核巨峰	6.5	14段前後	35粒
ナガノパープル	7	13段前後	30粒以内
ピオーネ	6	10～12段前後	30粒
シャインマスカット	7	13～15段前後	35粒
クイーンニーナ	7	13～14段前後	25粒
クイーンルージュ®	7	12～14段前後	35粒(以下)

(ア) 摘粒以降も1cm程度伸長する。軸長の調整が重要。大房にしない。

(イ) 段と段の間が空いているものは、段数と粒数を確保する。

(ウ) 基本は切り下げで軸長を7cm以下とし、残す支梗が平らになる所から下を使う。ただし、房尻が貧弱な場合や房尻の粒の間隔が空いている場合は、房尻側を切り上げ、軸長を調整するが、トウモロコシの輪切り状にならないように2回目のジベ処理前(なるべく早いうち)に行う。

(エ) 袋かけ前に、再度粒数の確認をする。

◆ぶどうの摘房・摘粒講習会開催について

下記日程により講習会を行います。都合の良い会場で受講してください。

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
6月13日	木	午前 9:30	千野 しげ子様園 (今井)	松橋
			安藤 周三様園 (綿内)	松沢
		午前 11:00	宮澤 文広 様園 (綿内牛池)	松沢
		午後 1:30	保科薬調集合 (保科) 伊藤様園	松沢
			松代総合C集合	伊藤
		午後 2:00	東部流通センター※現地移動開催 (駐車は東部流通センター南側へ)	外谷
			小林 芳春様園 (真島・梵天)	根津
午後 3:00	中村 忠勝様園 (東条)	伊藤		
6月14日	金	午後 1:30	南澤 ひろ江様園 (下石川)	徳武・寺澤
		午後 3:00	宮寄 正一様園 (塩崎)	徳武・寺澤

◆種あり巨峰の摘房・摘粒について

1. 摘房は、結実が確認できしで行う。特に弱樹勢樹は早急に実施する。
2. 結実不良果房を重点に摘房し、1新梢1房にする。
3. 仕上げは果粒軟化期までに行う。
4. 結実(着房)枝は80~150cm程度のものが望ましい。
5. 摘粒は15段・35粒を基本に、房形を整える。
6. 出荷形態に合わせ、目標とする房形に仕上げる。6kg出荷等握り房を目標にする場合は穂軸・肩の支梗が見えない円筒形とする。

◆種あり巨峰で棚下に下げた枝の処理について

1. 棚下に下げた枝の量は10~20%位なので、実止まり決定時(6月下旬)に切り落とす。
2. ウイルスフリー樹等、樹勢の強い園で半分近く棚下におろした場合。
 - ①一度に切除せず段階的(2~3回位に分けて)に棚下の新梢数を減らす。
 - ②最初新梢をかきとり、そのあと種枝を切除するなど棚上とのバランスを崩さないようにする。
 - ③下げた枝の切除は樹の先端部よりのものから行い、遅くとも7月初めまでに実施する。
切り口へトップジンMペーストを塗布し保護する。

◆種あり巨峰の無核果(単為結果)対策について

1. 満開後15日(落花後10日)頃、有核・無核の判定(判断)を行う。

①果房を指で軽くはじいて不受精果等がかなり落ちるようだとよい。

②あまり落果せずぎっしり着粒している場合は無核果と判断。

発生が多い場合は早急にジベレリンにフルメットを加用し浸漬処理を行う。

2. 処理時期

満開後10～15日後

(有核・無核の判断ができしだい早急に行う)

3. 処理濃度

ジベレリン25ppm+フルメット5ppm加用

水2ℓにジベレリン錠剤2錠(25mg)+フルメット1本(10ml)

※出荷は「ジベ巨峰」で出荷になります。「種なし」では出荷できません。

4. 処理方法・・・果房浸漬処理(大きいコップを使用する)

※有核・無核の判断や詳しい対応方法は果樹技術員にご相談ください。

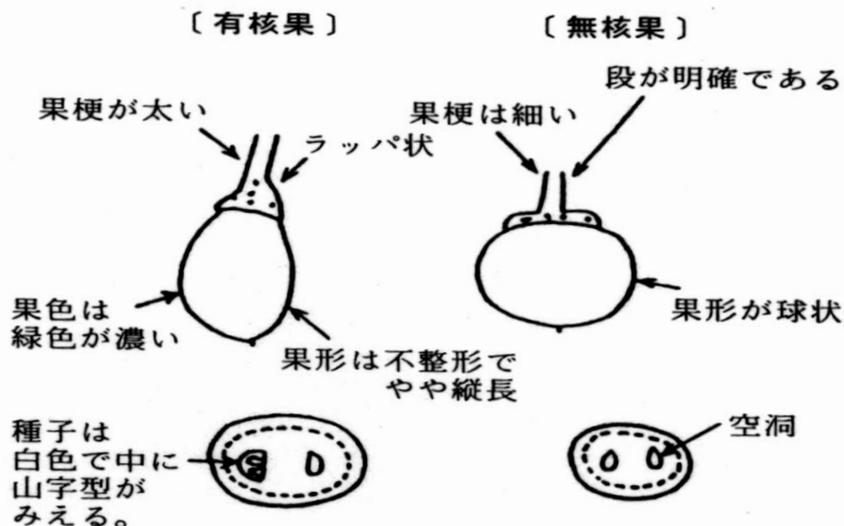


図5-11 単為結果の見分け方

《栽培に関する営農技術員への問合せ》

徳武(篠ノ井西部):080-1202-0260/外谷(篠ノ井東部):080-8048-6602

※篠ノ井西部は、当面、寺澤・松坂・佐藤・外谷も対応致します。

佐藤(信更):090-7179-9866/伊藤(松代・情報担当):080-2239-6816

松橋(川中島):090-4816-6297/根津(更北)080-1203-8576

松澤(若穂)080-1191-5166/寺澤(全域・情報編集):080-1188-5229

吉澤(全域・情報監修):090-2543-0365

栽培に関する電話対応は、担当地区関係なく対応できます。園地指導や地区組織関係のお問い合わせは、地区担当までお願い致します。

○果樹のアドバイザー(流通センター長兼務)松坂(篠ノ井西部)080-1188-4131

《栽培・販売に関する問合せ》各流通センター・共選所/営農販売部(本所):292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部農業資材課:299-3311